

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年02月02日

計画の名称	安全で快適な道路空間の創出と保全の推進（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	堺市											
計画の目標	本市において、安全で快適なまちづくりを推進するため、交通安全・バリアフリー対策などにより暮らしの確かな安全を確保するとともに、増大する維持管理費の平準化を図るため、舗装及び標識等の施設について予防的保全の観点も取り入れた点検・補修を推進することで、暮らしやすさ・快適さを向上させる。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7,498	A	7,498	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	・特定道路上における高齢者・障害者等の移動が円滑に行うことができる延長の割合を、93%（H29）から100%（R2）に拡大する。 特定道路における要バリアフリー化延長のうち、バリアフリー化済み延長の占める割合を算出する。 （特定道路におけるバリアフリー化率）=（バリアフリー化済み延長）/（特定道路における要バリアフリー化延長）	93%	100%	100%
2	・主要な幹線道路等において舗装の適切な管理水準の維持（平均MCI5以上）を目指す。 堺市舗装維持管理計画に基づき調査及び工事を実施し、路面の状態を示す指標MCI値の平均5以上を確認する。	6MCI値	MCI値	5MCI値
3	・国・府道、主要な市道におけるわかりやすい道案内のための標識（高速道路ナンバリング、英語表記改善及び路線番号等）の整備率を0%（H30）から54%（R4）に拡大する。 国・府道、主要な市道における高速道路ナンバリング、英語表記及び路線番号等が表示された標識の整備率を算出する。 （整備率）=（対象路線の整備済標識箇所数）/（対象路線の全標識箇所数）	0%	30%	54%

備考等	個別施設計画を含む	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
定量的指標	路面の状態を示す指標MCI値の当初現況値は平均6.2、最終目標値は平均5以上												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	堺市	直接	堺市	国道	修繕	(国)310号	延長 3.00 Km	堺市						1,420		策定済
	A01-002	道路	一般	堺市	直接	堺市	都道府 県道	修繕	(主)堺狭山線	延長 10.8 Km	堺市						845		策定済
	A01-003	道路	一般	堺市	直接	堺市	都道府 県道	修繕	(主)大阪臨海線	延長 3.99 Km	堺市						1,200		策定済
	A01-004	道路	一般	堺市	直接	堺市	都道府 県道	修繕	(主)富田林泉大津線	延長 8.79 Km	堺市						1,020		策定済
	A01-005	道路	一般	堺市	直接	堺市	都道府 県道	修繕	(主)大阪和泉泉南線	延長 4.26 Km	堺市						280		策定済
	A01-006	道路	一般	堺市	直接	堺市	都道府 県道	修繕	(主)大阪高石線	延長 5.30 Km	堺市						550		策定済
	A01-007	道路	一般	堺市	直接	堺市	都道府 県道	修繕	(主)美原太子線	延長 1.30 Km	堺市						100		策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-008	道路	一般	堺市	直接	堺市	都道府 県道	修繕	(主)堺かつらぎ線	延長 4.32 Km	堺市						460		策定済
	A01-009	道路	一般	堺市	直接	堺市	都道府 県道	修繕	(一)我堂金岡線	延長 3.40 Km	堺市						250		策定済
	A01-010	道路	一般	堺市	直接	堺市	国道	修繕	舗装構造調査	延長 40 Km	堺市						80		策定済
	A01-011	道路	一般	堺市	直接	堺市	国道	修繕	路面性状調査	延長 320 Km	堺市						50		策定済
	A01-012	道路	一般	堺市	直接	堺市	国道	修繕	路面下空洞調査	延長 320 Km	堺市						165		策定済
	A01-013	道路	一般	堺市	直接	堺市	国道	交安	(主)堺狭山線外	案内標識等の整備(93箇所)	堺市						84		-
	A01-014	道路	一般	堺市	直接	堺市	国道	修繕	大型標識点検	大型標識N=945基	堺市						189		策定済
	A01-015	道路	一般	堺市	直接	堺市	市町村 道	交安	(市)下田津久野2号線(津久野駅周辺地区)	歩道整備(0.5Km)	堺市						32		-

A 基幹事業

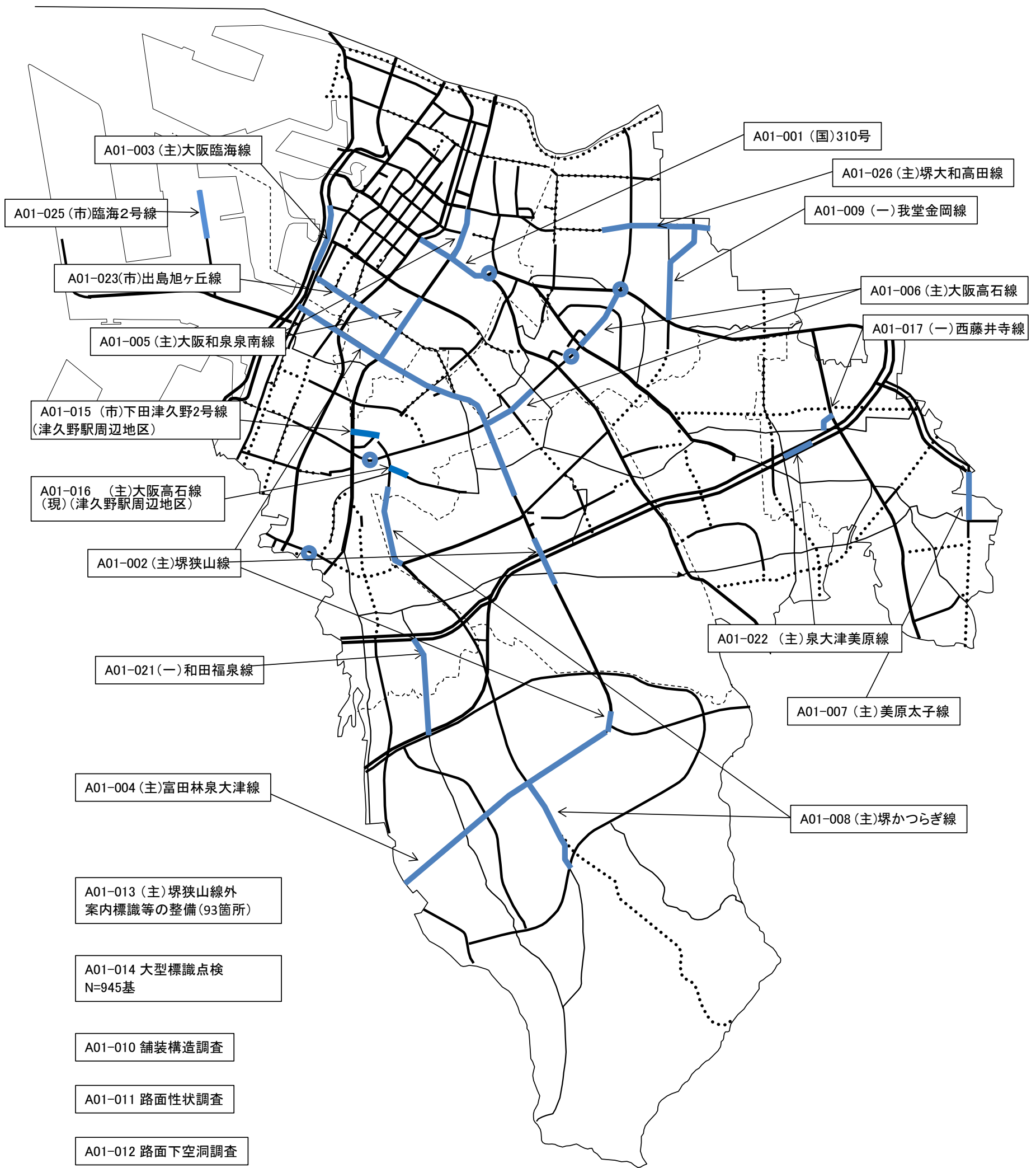
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-016	道路	一般	堺市	直接	堺市	都道府 県道	交安	(主)大阪高石線(現) (津久野駅周辺地区)	歩道整備(0.2km)	堺市						15	-	
	A01-017	道路	一般	堺市	直接	堺市	都道府 県道	修繕	(一)西藤井寺線	延長 0.30 km	堺市						20	策定済	
	A01-018	道路	一般	堺市	直接	堺市	都道府 県道	修繕	土工構造物点検	50箇所	堺市						40	-	
	A01-019	道路	一般	堺市	直接	堺市	国道	修繕	(国)310号外	冠水監視カメラ停電対策 5 箇所	堺市						10	-	
	A01-020	道路	一般	堺市	直接	堺市	市町村 道	修繕	(市)臨海1号線外	道路照明灯LED化 505基	堺市						173	-	
	A01-021	道路	一般	堺市	直接	堺市	都道府 県道	修繕	(一)和田福泉線	延長 1.5 km	堺市						150	-	

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-022	道路	一般	堺市	直接	堺市	都道府 県道	修繕	(主)泉大津美原線	延長 0.60 Km	堺市						60		策定済
	A01-023	道路	一般	堺市	直接	堺市	市町村 道	修繕	(市)出島旭ヶ丘線	延長 1.70 Km	堺市						90		策定済
	A01-024	道路	一般	堺市	直接	堺市	都道府 県道	修繕	遮音壁点検	8箇所	堺市						20		策定中
	A01-025	道路	一般	堺市	直接	堺市	市町村 道	修繕	(市)臨海2号線	延長 1.4 Km	堺市						120		策定済
	A01-026	道路	一般	堺市	直接	堺市	都道府 県道	修繕	(主)堺大和高田線	延長 2.10 Km	堺市						75		策定済
												小計					7,498		
											合計					7,498			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	R04
配分額 (a)	98	91	210	153	136
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	98	91	210	153	136
前年度からの繰越額 (d)	0	9	42	142	70
支払済額 (e)	89	58	110	225	160
翌年度繰越額 (f)	9	42	142	70	46
うち未契約繰越額(g)	0	35	32	30	30
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	35	12.69	10.16	14.56
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		社会資本整備総合交付金に関する予算の交付額が令和2年1月30日に決定したため	建設資材の納期の遅れ	補正予算が令和4年3月11日に交付決定し、未契約繰越に対応したため	事業計画の再検討



- A01-010 舗装構造調査
- A01-011 路面性状調査
- A01-012 路面下空洞調査
- A01-018 土工構造物点検
- A01-019 (国)310号外(“○”が対象箇所)
- A01-020 (市)臨海1号線外
- A01-024 遮音壁点検(8箇所)

事前評価チェックシート

計画の名称： 安全で快適な道路空間の創出と保全の推進（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。（上位計画名：堺市マスタープラン、堺市交通バリアフリー基本構想、堺市自転車利用環境計画等）	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 1) 本市の課題を踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性） 2) 本市のまちづくりに必要な施策に位置づけられている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 計画の目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえた事業実施の確実性） 2) 計画について住民や民間事業者等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 1) 住民等から事業実施についての要望がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性） 2) 計画について住民・民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○